

ノ目論ニテ出テ矣此モ全職工ハ蘇東ハ土高山西。山田洋次
職工五十五日正午時より、職工團ハ平素申事式て、モ
モテ震災後業界ニ活潑ニ成フシ歎々會極めて不直令干イ馬太
ヲモ領トテ主張セズ、官軍無事時ニ舞躍シ來リ、モ野糸モテ、
前ハ御園シモ又一頭職工團チ業界不滿モ察取シ復ハシム及テ所
業モ鐵文等ヘニヤマリシ以テ職工團ヘ其當初ヨリ内ハ日頃ニモ
ゾテ、ハ關東此式震災過前ニ致テモ浪業不滿、鐵文製ハ爾也
大國市西區名田四ニ就テ職務職工五十三名、財团・準業モ鐵文等

(大五亞他鐵金工業預費團年鑑文書)

蓄導監事 畠田 達一 細 謹

大正十二年十一月六日

財團法人協調會大阪支所

吉永源次郎三名ヲ代表トシテ十一月三十日解雇手當制度ノ制定其
他五ヶ條ヨリナル左ノ嘆願書ヲ提出シテ之ニ對シ十二月一日午后
三時ヲ期シテ其ノ回答ヲ求メタ
之ニ對シ工場主山本辰吉ハ回答期日迄ニハ即座ニ拒絶スベキ豫定
テアツタガ自分ノ子供ヲ死ナシタ不幸ニ遇ツタ爲メ三日正午工場
事務所ニ於テ前記代表者ニ會見シテ嘆願書ノ全部ヲ拒絶シタ回答
ヲシタ爲メ職工等ハ同日午后三時三十分ヨリ全員作業ヲ中止シテ
工場内ノ食堂ニ集合シテ同四時再ビ別記(2)ノ要求書ヲ提出シ
之ガ貫徹ヲ計ル可ク申合スル處ガアツタガ工場主ハ同四時五十分
前同様之ヲ拒絶スルト共ニ問題ガ容易ニ解決ナラズト認メテ臨時
休業ヲ發表シテ職工一同ヲ退所セシメタ

職工側ハ又々第二回要求書トシテ別記(3)ヲ提出シタ後工場ヲ
退キ西區田中町芳井房吉方ヲ爭議事務所トシテ尼ヶ崎關西亞鉛鍛
金工場及大阪市西區櫻島大阪鐵板職工數名ニ應援ヲ得會社ニ對抗